

平成19年度 事務事業評価表

事務事業名	日本グランドワーク協会負担金	コード	H19-E-02
		主管課局	農林商工課
		担当名	農政担当

1. 事務事業の概要

計画体系	(章)	1. 快適な生活環境づくり			(会計)	一般会計	
	(節)	1-1 自然環境・自然景観の保全・整備			(款)	農林水産業費	
開始・終了年度	(開始)	平成10年度				(項)	農業費
	(終了)	-				(目)	土地改良費
事業の種類		自治事務(任意)	自治事務(義務)	法定受託事務			
根拠法令等	水環境整備事業(榛沢川)						
統合の検討可能な 関連・類似事業							
内容と目的	河川などに不法投棄された粗大ゴミ等の清掃活動に取り組み、地域の環境改善活動を行っている団体。						
現状と結果	町は会員になっているが活動はしていない。負担金の支出のみ。						
課題と改善	水環境整備事業(榛沢川)の採択時に県より要請があり加入した。財政厳しき折柄、平成20年度以降は負担金を支出しない。						
住民意見							
対象数		平成16年度	平成17年度	平成18年度			
	賛助会員数	204	190	174			

2. 経費

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	
事業費 (千円)		200	200	200	
財源 内訳	受益者負担	0	0	0	
	国・県支出金	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	
	一般財源	200	200	200	
備考					

3.1次評価

評価項目と評価の視点			評価・評価コメント			
妥当性	(1) 事業の必要度	社会環境や住民ニーズなどかの変化により事業の必要性や役割は変わっていないか	コメント	変わっていない	一部変わった	変わった
	(2) 対象設定の妥当度	事業実施の目的として対象者は妥当か特定の団体や個人に偏っていないか	コメント	妥当である	あまり妥当でない	妥当ではない
	(3) 実施主体の代替度	事業を町以外(民間や国・県など)に任せることができるか	コメント	可能でない	一部可能である	可能である
有効性	(1) 成果の達成度	事業の実施により初期の目的や目標をどの程度達成しているか	コメント	達成していない	一部達成している	達成している
	(2) 事業の見直し度	成果の状況を踏まえ、事業内容を見直す余地はあるか	コメント	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある
効率性	(1) 行政コストの削減度	経費節減によりサービス水準を低下させずにコストを下げるができるか	コメント	できない	検討の余地がある	できる
	(2) 効率性の向上度	事業の効率性を上げるため他の事業との統合や事務の省力化など見直しの余地があるか	コメント	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある
	(3) 受益と負担との相関度	行政サービスの内容と負担を比較して、受益者負担の適正化の余地があるか	コメント	適正化の余地はない	検討の余地がある	適正化の余地がある
総合評価		1.見直しの必要なし	見直しの必要あり 2.改善 3.充実 4.縮小 5.統合 6.廃止			6
予算反映		1.現状どおり	2.増額 3.減額 4.廃止			4
評価理由		任意での負担金であり、現状を考えると廃止でやむを得ない。				

4.2次評価

総合評価	1.見直しの必要なし	見直しの必要あり 2.改善 3.充実 4.縮小 5.統合 6.廃止	6
予算反映	1.現状どおり	2.増額 3.減額 4.廃止	4
評価理由	平成19年度に榛沢川の事業が終了し、目的を達成したため廃止することが望ましい。		

5.外部意見聴取

評価に対する意見	榛沢川の事業終了により目的を達成したため廃止すべきである。
----------	-------------------------------